

知的財産推進計画2019(案) について

(知財創造教育推進コンソーシアム検討委員会 (第6回) 説明資料)

2019年6月17日

内閣府 知的財産戦略推進事務局

1. はじめに

- ・ 「価値デザイン社会」とは
- ・ 「価値デザイン社会」の実現のための移行戦略のコンセプト、方向性を示し、移行戦略を具体化していくものとして「知的財産推進計画2019」を位置付ける

2. 「脱平均」の発想で個々の主体を強化し、チャレンジを促す

- (1) 中長期の方向性
- (2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

3. 分散した多様な個性の「融合」を通じた新結合を加速する

- (1) 中長期の方向性
- (2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

4. 「共感」を通じて価値が実現しやすい環境を作る

- (1) 中長期の方向性
- (2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

5. 工程表

- (1) 「知的財産推進計画2019」重点事項
- (2) 「知的財産推進計画2018」からの継続項目

「知的財産戦略ビジョン」
の3本柱に
沿った柱建て

目指すべき姿(ビジョン)

価値デザイン社会 ～夢×技術×デザイン=未来～

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る

実現のための移行戦略

A；「脱平均」の発想で個々の主体を強化し、チャレンジを促す

B；分散した多様な個性の「融合」を通じた新結合を加速する

C；「共感」を通じて価値が実現しやすい環境を作る

将来に向けた価値のデザイン

(経営デザインシートの考え方の普及、デザイン経営、知財の見える化・適正な価値評価の実行)

オープンイノベーションの促進

ベンチャーを後押しする仕組み(スタート)

アップエコシステム、ベンチャーからの調達支援)

創造性の涵養・尖った人材の活躍

地方・中小の知財権益強化支援

知財創造保護基盤の強化

模倣品・海賊版対策の強化

知的資産プラットフォーム

(構想クラウドの構築、SDGsプラットフォームの活用)

データ・AIの適切な利活用促進に向けた制度・ルール作り

デジタルアーカイブ社会の実現

国内外の撮影環境改善等を通じた映像作品支援

クリエイション・エコシステムの構築

(ブロックチェーン等の新しい技術を活用した著作物の管理・適切な利益配分、新しいコンテンツ流通環境に対応した海外展開促進)

クールジャパン単独各の持続的強化

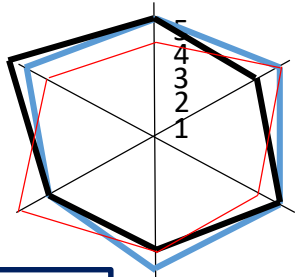
学校・大学／課外

社会人

均等に万遍なく何でも出来る人材

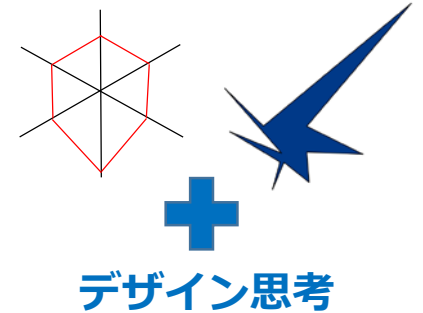
全く枠に収まらないが何か突き抜けている人材

新たな価値創造を行える人材



好きなところ
を見つけ・気
づき・伸ばす

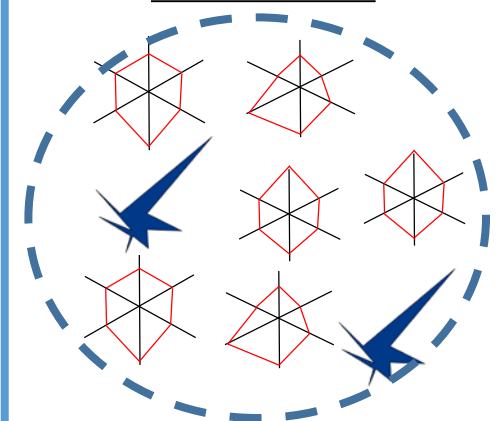
潰さない、
活躍の場を
作る



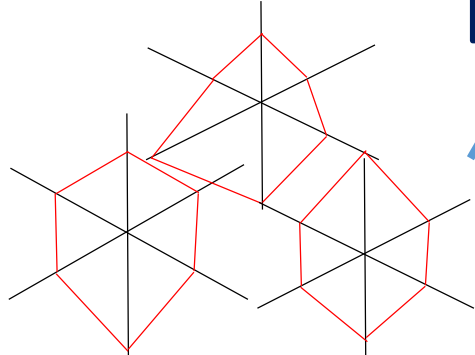
価値創造を行う人材が集い、
活躍できる場

少し尖った人材へ

尖った人材
を受け入れ
る環境醸成



目指すべき人材像・環境



○未来投資戦略(案)

8. Society5.0実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築

(2)新たに講ずべき具体的施策

i)自律的なイノベーション・エコシステムの構築

③知的財産・標準化戦略

- 初等中等教育において、児童・生徒の創造性を育む知財創造教育を推進するため、今年度から、高等学校を新たに対象として、教材等の収集や作成を開始し、それら教材を活用した実証授業等を全国で行う。

出典：令和元年6月5日 未来投資会議(第28回) 資料2：成長戦略フォローアップ案

○統合イノベーション戦略2019(素案)

第2章 知の創造 (1)大学改革等によるイノベーション・エコシステムの創出

<ボーダレスな挑戦(国際化、大型産学連携)>

《STEAM教育等の推進》

- 尖った才能を開花させる取組を促進する。また、「新しい創造をする」ことの楽しさを体験し、「創造されたものを尊重する」ことの大事さを実感しながら、これらの能力を育む教育を全国で実施するための持続的な推進体制を整えるとともに、教育プログラムの開発奨励・利便性の向上に取り組む。

出典：令和元年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議(第5回) 資料1-2：統合イノベーション戦略2019(素案)